

団信、地銀向けに販売

SBI生命 グループ戦略連携深化 新商品開発 生命保険の窓販も検討

インターネット専門保険のSBI生命保険は2018年初頭にも地方銀行の住宅ローンに対応した団体信用生命保険を販売する。現在は、グループのネット銀行である住信SBIネット銀行で団信を販売。地銀との連携深化を目指すグループ戦略の下、団信販売を地銀にも広げる。団信だけでなく、将来は生命保険や医療保険の銀行窓販も検討する。2017年3月期で54億円の保険料等収入を、中期的に2-3倍引き上げることを目指す。

SBI生命保険はネットで支払われる商品もあ視野に入れている。販売もグループ戦略の
ットチャネルで生命保
険や医療保険を販売。
ネット専門のコストメ
リットを生かし、低価
格な保険料を実現して
いる。

SBI生命は住信S
BIネット銀行の住宅
ローンに対応した団信
を取り扱っている。飯
沼邦彦社長は現在の団
信市場について「細か
い顧客ニーズに合わせ
たさらなる商品開発の
余地がある」と見てお
り、地銀ごとの特色に
合わせた新商品開発も

最近では病気になるだけ
を一括弁済する商品。
合などに残りのローン
を支払者が死亡した場
約者となり、住宅ロー
ン支払者が死亡した場
合などに残りのローン
を一括弁済する商品。
最近では病気になるだけ

SBIグループは地
銀との連携を深めてい
る。地方金融機関を支
援する1000億円規
模のファンド立ち上げ
を計画している。

このほか、SBI証
券は清水銀行や愛媛銀
行と業務委託契約を締
結し、銀行顧客向けに
金融商品を提供。SBI
生命の地銀への団信

このほか、SBI証
券は清水銀行や愛媛銀
行と業務委託契約を締
結し、銀行顧客向けに
金融商品を提供。SBI
生命の地銀への団信